

第65回理事会・第34回評議員会 報告書

(財) おかやま環境ネットワーク

○日時：2012年4月28日（土） 10：00～11：35

○出席：理事会=15名（内委任5名）、評議員会=11名（内委任3名）、監事=2名

○議長：理事会=青山、評議員会=伊藤 ○議事録署名人：理事会=榎、三村、評議員会=田中敦子、田中照周

〔議題〕 開会に先立ち、新任の梶田博司理事の紹介があった。

1. 2012年度体験プログラム①『ウミボタル夜間観察会』、②『高島干潟いきもの観察会』、③『みつばち農園エコツアー』の開催要項を可決した。
2. 2011年度事業報告及び財務諸表等並びに監査報告を承認した。

2011年度は、各事業への参加を増やし、活動の裾野を広げることに力を注いだ結果、参加者は過去最多となり、他団体等との協働や連携もすすんだ。年度末決算状況として、当期収入合計は、共催や補助金等の申請を積極的にすすめたことと、各事業への参加者や寄附が想定より多かったことなどにより、予算比109.6%、前年比104.5%となった。事業費合計は、新規事業の実施や各事業への参加数は昨年を上回っているが、運営の見直しなどにより予算内（予算比94.4%）にコントロールできた。管理費は、人件費・物件費の削減をすすめ、管理費合計では予算比87.0%、前年比93.0%となった。当年度予算は、助成活動報告集の出版経費分等の赤字予算としていたが、上記の結果、当期収支差額は275,004円の黒字となり、健全な運営が図れている。

年度末会費納入状況は、個人115、団体48、企業等52、合計215会員となり、年度内に32会員の入会があったが景気動向等による32会員の退会があり、昨年と同じ会員数となった。

また、監査報告があった。

以上、事業報告及び財務諸表等並びに監査結果を承認し、合わせて、公益法人移行認定申請にあたり、この「第11回維持会員総会資料」をもとに申請書を作成することを承認した。

3. 現財団法人おかやま環境ネットワークの評議員、顧問、理事長、専務理事の選任を理事会で可決した。
4. 現財団法人おかやま環境ネットワークの理事、監事の選任を評議員会で可決した。
5. 公益財団法人移行後の評議員について、「評議員選定委員会」で選任された全員より就任承諾書が提出されたことが報告され、選任を同意した。
6. 公益財団法人移行後の理事、監事の選任を評議員会で可決した。
7. 公益財団法人移行後の代表理事、業務執行理事、顧問の選任を理事会で可決した。
8. 「木下黄太氏講演会」の後援申請について可決した。可決にあたり、今回は評議員より講演内容についての助言があったことを受け後援を可決したが、申請団体に関する情報が少なく、事務局は判断材料となる情報を十分掘り、内容を精査した後に提案するよう指摘があった。また、申請の書式について検討する必要があるのではないかという意見があり、今後検討をすすめる。

〔報告事項〕

1. 2011年度環境講座に、132名の参加があったことや収支の報告があった。
2. 2011年度助成全団体から活動報告書と会計報告書が提出され、適正であった旨の報告があった。
3. 2012年度の協働事業①NPO法人里海づくり研究会との「ミニシンポアマモと牡蠣の海～日生を里海に～」、②エコマインドネットワークとの「夏休み体験企画バイオマスエコツアー」、③千年の森づくりグループとの「美咲の森完成記念のつどい」の企画概要の報告があった。
4. 2012年度第1回ホテル団体交流会が、13団体、19名の参加のもと開催され、第10回ホテルフォーラム(11/17開催)の開催要項や幼虫の上陸を中心とした交流をすすめたという報告があった。
5. 諸報告等として、退任役員へのお礼や、今後の理事会、評議員会の日程確認、ネットワークのつどい（維持会員総会）への参加要請、助成部会開催等についての確認があった。6月に助成部会は開催せず、各自「募集要項」を確認した後、意見があれば5月18日までに事務局へ連絡し、5月30日開催の運営委員会にて検討した後、6月理事会に提案することと、5月30日開催の運営委員会の開始時間を18時30分に訂正することを確認した。